
大魔王と勇者の魔王退治

竜王

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大魔王と勇者の魔王退治

【Nコード】

N9907I

【作者名】

竜王

【あらすじ】

神に暇つぶしで殺された主人公が大魔王の力を貰って異世界で勇者と魔王退治に行くという話。

第一話（前書き）

初めまして。竜王です。初めての作品なのでミスもあるかもしれませんが、
せんがよろしくお願いします。

第一話

死んだ：そう死んじゃたよ

なんで18歳で死ななきゃいけないんだ。なんで死んだかって、いきなり家の天井が落ちてきたからだよ。

てかここ何処だ？地獄か何か滅茶苦茶暗いのだが、どういう事だ。

『ここは、神の間だ。』

「神の間だと、どういう事だ。」

『お前は、ワシの暇つぶしのために死んでもらった。異世界に行つてワシを楽しませろ。』

「な：なに〜ふざけるな〜！ 何故、俺がお前の暇つぶしで死にやならんのだ。生き返えらせろ。今すぐに。」

『それを無理だ。何故ならお前は既に死んだと世界に登録してしまった。もう生き返えられない。だが異世界はら生き返えらすことが出来る。さあどうする。』

「わかった生き返えらせてくれ。」

『よからう生き返えらせてやろう。そうそう生き返えらせる異世界だが魔王が世界の半分を支配し世界中に魔物がいる世界だ。』

「何？すぐに死ぬだろうが。俺に死ねと言うのか。」

『なにお前には、大魔王の力をやる。それならいいだろう。』

「大魔王の力？」

『そうだ魔力は、魔王の10倍、力は、魔王の10倍位かな。だけど鍛えればもっと上がるよ。頭は超天才である。しかも瞬間記憶能力を付けてあげよう。どうだい。』

「わかった生き返えらせてくれ。」

『じゃあ送るぞせいぜいワシを楽しませてくれ小僧。』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9907i/>

大魔王と勇者の魔王退治

2010年10月9日22時03分発行